

教宣 せぶん

稚拙な、嫌がらせ

「パートナーズ代理店は母店にしかないわけですが、代理店転進に手を上げなかった出先課所の者がパートナーズへ配属される可能性だってあるんじゃないですか？」 組合員がある問題で、課所長とこんな話しになったそうです。出先課所から母店への距離はおよそ60キロ。自動車ですら約80分の距離です。この質問に、東海出身の課所長は間髪いれずに「それは人道上、ありえません」と明確に答えたそうです。この会話が合ったのはおよそ1カ月前。遠距離という規定がどういう距離なのか、はたまた時間なのかわかりませんが、少なくとも出先の課所長が明確に答えたところをみると、会社の命令で遠距離を通勤させることは「人道上」ありえないというのが古くからの東海社のスタンスのようです。

にもかかわらず、今回の不当配属はなぜ起きたのでしょうか？嫌がらせ以外には考えられません。人権を大切にすることを謳い、コンプラ遵守を掲げ、トップが日本損害保険協会会長にも就任した会社が、こんな稚拙な、嫌がらせをして良いのでしょうか？ビデオに登場する社長はいつも立派なことを言っていますが、もっと自分の足元を見つめ直してもらいたいものです。

異動の内示は人事異動として発令されましたが、会社は、当の本人や私たちが納得できる理由を示したのでしょうか？発令されたレターを見ると、当分会だけではなく他分会にも首を傾げたくないような異動がありました。いずれも第3次原告団に手をあげた方たちです。そこには明らかに会社の恣意性が見て取れます。この会社は、裁判でダメ出しを食らわないと、いつまでも自分勝手なことを行う会社のようです。自浄能力などまったく持ち得ていない会社のようです。

「人道上ありえない」と明言した支社長の方が、はるかに日本損害保険協会会長の素養を持っていると感じます。